

音楽のリレー

Musica a Staffetta

十日町コモ姉妹都市交流コンサート

Celtic Harp にのせて、ケルト文化・音楽、そしてその歴史を伝える旅



2013年 8月24日(土)

15:00 開場 15:30 開演

十日町市民会館

入場料：無料

【出演】

Fabius Constable &
The Celtic Harp Orchestra

ファビウス・コンステブル & ザ・セルティックハープ・オーケストラ

ダニエラ・モリッツ / マリア・アッスンタ・ロメオ

ジュリアーノ・シスツ / サブリナ・ノセダ

ルカ・カスコーネ / リカルド・タッビ (パーカッション)

ゲスト奏者：南中学校吹奏楽部、内田節

主催：十日町コモ姉妹都市交流協会

後援：十日町市

Fabius Constable
The Celtic Harp Orchestra

Fabius Constable & The Celtic Harp Orchestra

ファビウス・コンステーブル & ザ・セルティックハープ・オーケストラ



Celtic Harp セルティックハープ

日本ではアイリッシュハープ(Irish Harp)と呼ばれることが多いのですが、海外ではセルティックハープもしくはケルティックハープ(Celtic Harp)、あるいはレバーハープと呼ばれる楽器です。主に、アイルランドやイギリスなどの民謡を弾くときに使われていたハープなのでフォークハープという呼び方もあります。

Fabius Constable ファビウス・コンステーブル

1973年生まれ。Celtic Harp奏者、作曲家、Celtic Harp Orchestraを主宰。バロック、エスニック、ジャズなど様々な要素がミックスされたセルティックフュージョンと呼ばれる独自の音楽スタイルです。ソロ活動とオーケストラでの活動だけでなく、クラシカルカルテットやバンドでの活動もこなし、ヨーロッパだけでなく、日本、中国、インドなどアジアでの活動も積極的に行っています。アンドレア・ボチュェリなど様々なアーティストとも共演をしています。近年は音楽を通じたボランティア活動にも熱心で、平成23年5月には、東日本大地震と長野県北部地震の被災地を巡り慰問コンサートを開きました。当市の奴奈川小と川治小を皮切りに、十日町中学校の吹奏楽部の生徒とも交流し、福島、宮城、岩手、青森の12の避難所を慰問しました。ボランティア活動も世界的に行っており、その功績からイタリア大統領よりメダルの授与を受けました。

The Celtic Harp Orchestra ザ・セルティックハープ・オーケストラ

コモ市を拠点とするThe Celtic Harp Orchestra(CHO)は、2002年にFabius Constableによって立ち上げられたセルティックハープのオーケストラです。実験的プロジェクトとしてスタートしたオーケストラは、現在、世界で最も大規模な常設のセルティックハープオーケストラとして発展しました。アルバム "The Myst" は、インディーズレーベルからリリースされながらも12万枚を超えるセールスを記録しています。活動の中心は、イタリア、スイス、スペイン、ドイツ、アイルランド、フランスなどヨーロッパですが、中国やインドなどアジアにもその活動の場を拡げて来ています。また、パルコ・デッラ・ムジカ音楽堂やトリニティ・カレッジといった著名な音楽ホールやミラノ大聖堂などでも公演しています。CHOは、18器のセルティックハープに加えて、アイルランドバイオリンフィドル、チェロ、スコティッシュパイプ、パーカッション、ギター、バスギター、コーラスの構成です。今回は、6人のハープ奏者とパーカッション奏者が来日し演奏します。

お問合せ：十日町コモ姉妹都市交流協会事務局(十日町商工会議所内) TEL.025-757-5111